



生みの親といっしょに
よりよい育ての親に

わたしを ぎゅっとして
わたしを 見つめて
わたしを 聞いて
わたしを 呼んで

〔 私たちが求めつづける 0歳からの人間教育 〕 ～ 子どもと親が育ち 仲間や地域を育てる童心会 ～

私たち(社福)童心会の人間教育をふり返ってみると2つの教えを思い出します。

- 1) 五感と六識を刺激する 0歳からの人間教育
- 2) 道しるべ: Well-being 幸せになろうね! 幸せになろうよ!

この2つの考え方を基盤とした”人間教育”の考え方にshiftしたのです。
保育園の保育(乳幼児の保育・幼児教育)から「生命を授けられてから死を迎えるまで」の
生涯学習・生涯教育を視野に入れた人間教育として捉えてみたのです。
そしてそれを「先人たちの訓えと人としての道理を人間学」とし「最近の科学的根拠に裏付けされた理論を
”人間科学に基づく”」と分類を試みたらとても分かりやすくなったのです。

人間学と人間科学に基づく人間教育の考え方

〔 人間学の見地(愛された育ち) 〕

- 1) ふれあい・みまもり・思いやり
- 2) いたわり・はげまし・思いやり
- 3) うるおい・やすらぎ・思いやり
- 4) 興味・関心・好奇心
- 5) やる気(意欲)げん気(気力)ほん気(意志)

〔 人間科学(脳神経科学)に基づく見地 〕

- 1) 愛情ホルモン オキシトシン
- 2) 幸せホルモン セロトニン
- 3) 睡眠ホルモン メラトニン
- 4) やる気ホルモン ドーパミン
- 5) チャレンジホルモン アドレナリン

さらに私たち(社福)童心会の訓えは続きます。

私たちの”道しるべWell-being幸せになろうね幸せになろうよ!”とは
「自分自身の人間性を高めていくこと」なのです。”子ども真ん中”ではなくて
”自分真ん中”にして”自分を愛するように人を愛すること”に繋げてゆくことなのです。
そして自分を創る訓えとは次のような考え方になりました。



笑ったかす一番
遊んだかす一番

だっこされたかす一番
でかけたかす一番

やさしくされたかす一番
チャレンジしたかす一番

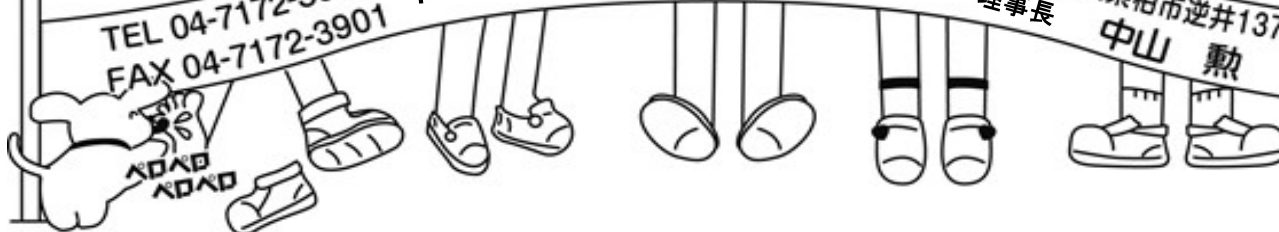


E-mail doushinkai@doushinkai.jp URL <http://doushinkai.jp>

TEL 04-7172-3939
FAX 04-7172-3901

社会福祉法人 童心会

〒277-0042 千葉県柏市逆井1377番地1
理事長 中山 勲



人間としての生きる心得(現代版 無財の七施)

- | | | | |
|---------|---------------------|-------|-------------------|
| 1) 笑 顔 | 朝からとびっきりの笑顔でおもてなし | 5) 傾聴 | やさしい眼差しで話に耳を傾けること |
| 2) 挨 拶 | 思いやりが心にひびくご挨拶 | 6) 共感 | 共にある心、共に喜び、共に悲しむ心 |
| 3) 思いやり | すべてのものの喜びや悲しみによりそう心 | 7) 受容 | あるがままに受け入れる心 |
| 4) 感 謝 | いつもありがたいの心を忘れない | | |

改めてふり返って見ますと、私たちの子育ては、歴史的に見ても親や乳母、養育者やご近所の大人たちが何も分からない言語も持たない乳幼児の世話をすることから始まったような気がします。

しかし2001年、OECDから発表された「保育白書ECEC(Early Childhood Education and Care)」の中で次のように発表されたのです。

「近年の脳神経科学の研究により、幼い子ども、特に3歳児未満の人生の最初期にある子どもは、有能な学習者であることが確かとなった。

3歳児未満児とそれより年長の子どもの学習能力を分別するのは、伝統や大人の都合であり、科学的根拠に基づくものではない」

また童心会だより6月号にも書いたのですが、

『21世紀の証拠に基づく「子ども育て」KKぎょうせい(掛札逸美、他2名著)』

21世紀に発表された研究論文150を含む200の証拠の中でも、私たちが50数年前から取り組んできた「五感を刺激する0歳からの人間教育」を次のような言葉と方法で紹介していました。

- 1) 生まれた瞬間から子どもの脳と体を育てる科学的な方法を考えながら生きること
- 2) 知識、技術：誕生から死ぬまで、学び、身につけるもの(生涯学習・生涯教育)

そして私たち(社福)童心会の実学(実践の上に成り立ち、そこから生まれた理論)から生まれた技法が科学的に実証され、私たちは次のように考え実践しているのです。

〔 agency(主体・自我)の成り立ちの基盤(serve&return) 〕

～ 人格・人間性・人生観・主体(自分らしさ)を創る ～

- ・赤ちゃんが見ている方向が変わったら応える (Serve & return)
- ・赤ちゃんがものに対して何かをしていたら応える (Serve & return)
- ・赤ちゃんの模倣をする (Serve & return)
- ・赤ちゃんが自分で何かすることを励ます (Serve & return)
- ・赤ちゃんの考えや感情(mind)にあった話しかけをする (Serve & return)

〔 人間教育のはじめ 〕

～五感を刺激する0歳からの人間教育～

見て 倣い 観せて 学び
聞いて 考え 聴かせて 習う
触れて 知って 触って 記憶する
風に香りを嗅ぎ 五味・五色・五感で 四季を味わう

改めて私たちが考えた「人間学と人間科学に基づく人間教育」をふり返ってみた時、気候・風土・文化・歴史・宗教に裏付けされた2000年以上も前の先人たちの訓えであり”人の道理”でもありました。

だから”生命の誕生”は天命・天意であり「9つまで、つのつく歳までは神の子」と信じてきたのです。

また人間科学的根拠に基づく考え方では

- 1) 脳細胞は5歳までに90%が構築される
- 2) agency(主体・自我・自分らしさ)の4つの基盤は10歳までに形作られる
という科学的根拠を確信して実学を実践してきたのです。

そして私たち(社福)童心会の実学に基づく合言葉は次のようになりました。

「Starting Smart (人生の始まりこそ 賢く)」

今日もまた一日一生を念じながら

すべての仲間たちのWell-being “幸せになろうね！ 幸せになろうよ！”と

祈り願い続けていくつもりです。どうぞいつまでもお幸せに!!

令和7年 9月 吉日
社会福祉法人 童心会
理事長 中山 勲